

Made for *life*

Muse™ iQ

Muse™



## はじめに

この度はスターキー耳かけ型補聴器をお選びいただき、誠にありがとうございます。

補聴器をお使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

なお、取扱説明書はお読みいただいた後も大切に保管し、補聴器の使い方がわからなくなった際には再読下さい。

## フィッティングサービスの重要性

補聴器はマイクから入力された音を増幅させて出力し、聴力を補う医療機器です。

補聴器は適切なフィッティング調整により、その効果が発揮されます。しかし、装用者のきこえの状態によっては、その効果が異なる場合があります。

補聴器は装用者に合わせて調整されています。装用者以外の方のご使用はご遠慮ください。

## 目次

1. 安全にお使いいただくために.....	4
2. 各部の名称.....	6
3. シリアルナンバーなどの記載事項.....	8
4. 電源の入／切.....	8
5. 電池の交換.....	9
電池シールについて	
電池交換のお知らせ音	
6. 補聴器を装用するには.....	10
7. プッシュボタンの機能.....	11
①音量調節(短押し・長押し)	
②音量調節(ボリュームスプリンクラー)	
③メモリー切換え	
④ミュート機能	
8. シーソースイッチの機能.....	13
①音量調節(シーソースイッチ仕様)	
②メモリー切換え	
9. T2リモート(リモコン機能)を利用するには.....	14
10. 電話をかける時は.....	15
11. お手入れをするには.....	16
12. お知らせ音について.....	18
13. おかしいなと思ったら.....	19
14. 販売店様へ.....	20
右/左の目印	
15. 表示項目等.....	20
医薬品医療機器等法第63条の規定による表示	
保証について	

## 1. 安全にお使いいただくために

警告／注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。  
ご使用前によくお読みになり、必ず守ってください。



### 警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。



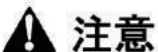
### 注意

取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。



### 警告

- ◆ 補聴器本体や部品、電池を、幼児や精神的に障害のある方、ペットの手の届かないところに保管・管理してください。
- ◆ 補聴器本体を、爆発性の環境に持ち込まないでください。
- ◆ 補聴器本体またはイヤチップなどを誤って飲みこまないように十分注意してください。もし飲み込むような事故があった場合は直ちに医師にご相談ください。



### 注意

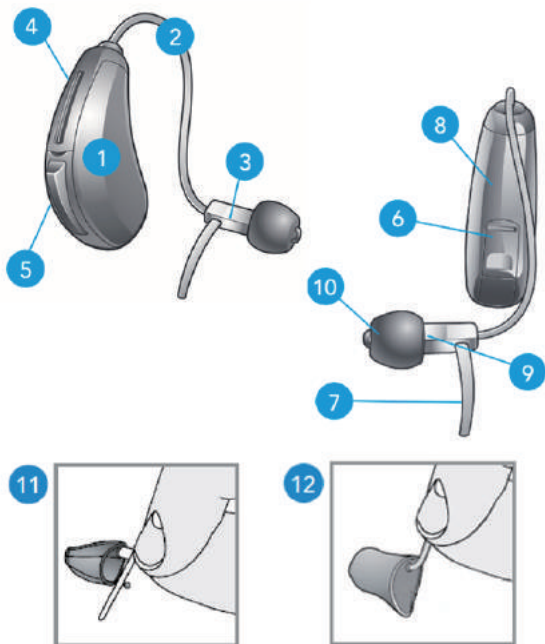
- ◆ 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。
- ◆ MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には補聴器を持ち込まないでください。また、レントゲン撮影やCTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼす為、撮影時には補聴器を外してください。
- ◆ 補聴器を電子レンジで乾かさないでください。内部の電子部品が破壊されてしまいます。
- ◆ 浴室など、湿気の多い場所に補聴器本体及び電池を放置しないでください。
- ◆ 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店にご相談ください。
- ◆ 電池のフタを無理に開けたり、閉じたりしないでください。故障の原因になります。
- ◆ 補聴器は再資源化対象ですので、ご不要となった場合はゴミとして捨てず、販売店にお持ちください。
- ◆ 補聴器は常に清潔に保つよう使用後の清掃、保管前の清掃をしてください。



### 注意

- ◆ 次の場合、補聴器を使用しないでください。
  - ・耳を治療中の場合。
  - ・耳の中に痛みがある場合。
  - ・先天的又は外傷による明らかな耳の変形がある場合。
  - ・過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合。
  - ・過去60日以内に急激又は急速な難聴の進行を生じた経験がある場合。
  - ・過去30日以内に耳鳴りが大きくなった場合。
  - ・急性又は慢性のめまいがある場合。
  - ・耳垢又は異物の集積が明らかな場合
- ◆ 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
  - ・耳漏が生じたとき。
  - ・耳の治療が必要なとき。
  - ・耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
  - ・耳の皮膚が赤くなったり、痒みや湿疹が生じたとき。
  - ・使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
  - ・補聴器の外観、音質・音量等に異常を感じたとき。
  - ・めまいが生じたとき。
- ◆ 耳の中でホワイトワックスガード等の部品が脱落した場合、販売店又は耳鼻咽喉科の医師にご相談ください。
- ◆ 耳鳴マスク機能（TRT機能）の使用には医師の処方が必要です。ご使用になる場合、耳鼻咽喉科医師の指示に従ってご使用ください。
- ◆ 耳鳴マスク機能の使用により、耳鳴りや聞こえが悪化する場合があります。悪化した場合直ちに使用を中止し、耳鼻咽喉科医師にご相談ください。
- ◆ 補聴器内部を針などがったものでつかないでください。
- ◆ 硬い床の上などに落とすと破損する可能性があります。落とすと壊れやすい場所での補聴器の付け外しをしないでください。
- ◆ その他ご不明な点等がございましたら、販売店までご連絡ください。

◆micro RIC312の場合



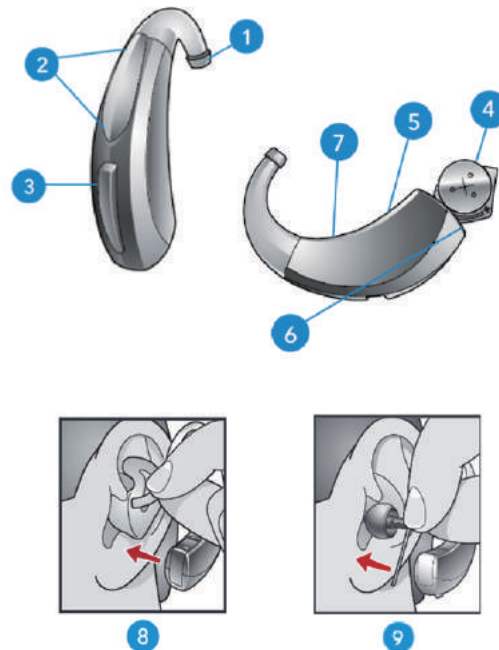
- 1 補聴器本体
  - 2 レシーバーケーブル
  - 3 レシーバー
  - 4 マイク
  - 5 プッシュボタン
  - 6 電池のフタ  
(フタを開けるとシリアル番号が記載されています)
  - 7 リテンション(取り外し可)
  - 8 メーカー名・製品名記載位置
  - 9 レシーバーの左右の目印  
赤:右耳用 青:左耳用
  - 10 イヤチップ
  - 11 RIC用イヤモールド
  - 12 シリコンイヤモールド
- ※ 11,12 はRIC312と共通です。

◆RIC312の場合



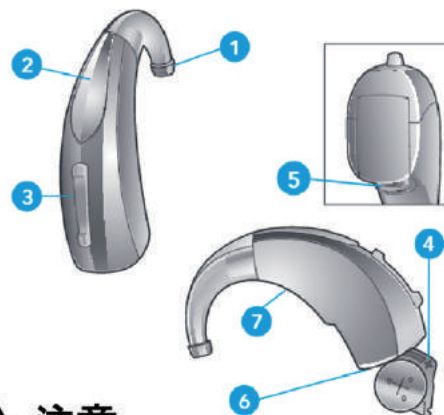
- 1 補聴器本体
- 2 レシーバーケーブル
- 3 レシーバー
- 4 マイク
- 5 シーソースイッチ
- 6 電池のフタ
- 7 リテンション
- 8 メーカー名・製品名記載位置
- 9 レシーバーの左右の目印  
赤:右耳用 青:左耳用
- 10 イヤチップ

◆mini BTE312の場合



- 1 イヤフック
  - 2 マイク
  - 3 プッシュボタン
  - 4 電池のフタ
  - 5 左右の目印  
赤:右耳用 青:左耳用
  - 6 シリアル番号記載位置
  - 7 メーカー名・製品名記載位置
  - 8 イヤモールド
  - 9 イヤチップ
- ※ 8,9 はBTE13と共通です。

◆BTE13の場合



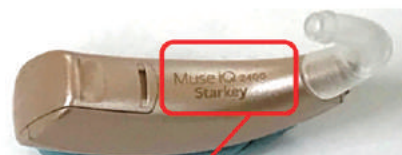
- 1 イヤフック
- 2 マイク
- 3 シーソースイッチ
- 4 電池のフタ
- 5 左右の目印  
赤:右耳用 青:左耳用
- 6 シリアル番号記載位置
- 7 メーカー名・製品名記載位置

⚠ 注意

◆ 他社製品と組み合わせて使用すると、部品等の脱落の原因となります。弊社純正品のみご使用ください。

### 3. シリアルナンバーなどの記載事項

- シリアルナンバー(例: XX-XX XXXXX)  
シリアルナンバーは補聴器の内部に記載されています。



- 補聴器の名前  
Muse iQ または Muse
- 製造メーカー名  
Starkey

#### <RICのレシーバー>



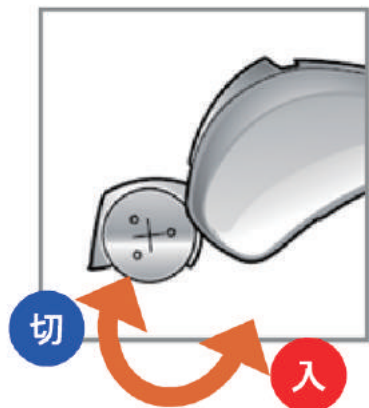
赤:右耳用  
青:左耳用

長さ:1、2、3、4、5

### 4. 電源の入/切

**電源入** 電池を電池のフタに入れ、閉めると電源が入ります。

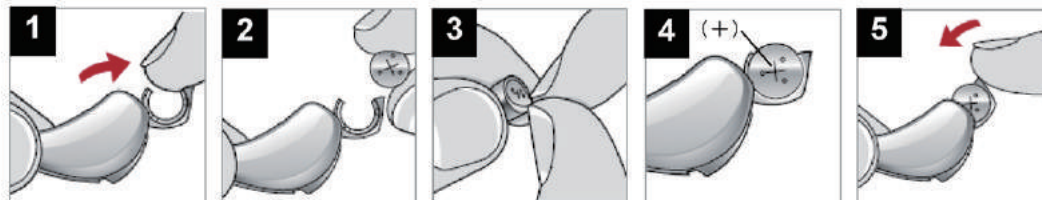
**電源切** 電池のフタを開けると、電源が切れます。



#### ⚠ 注意

- ◆ 電源を入れたままにすると、電池寿命が極端に短くなります。補聴器を使用しない時は、電池のフタを半開きにして電源を切るか、電池を取り外してください。電池を取り外すことで液漏れの対策にもなります。

### 5. 電池の交換



電池のフタに爪をあて、矢印の向きに開きます。

使用済みの電池を取り出します。

未使用の電池のシールをはがします。

電池の(+)面を上にして入れます。

電池のフタをもとどおりに閉めます。

補聴器	ご使用の電池 / シールの色
micro RIC312	PR41(312) / 茶色
RIC312	PR41(312) / 茶色
mini BTE312	PR41(312) / 茶色
BTE 13	PR48(13) / オレンジ

#### <電池交換のお知らせ音>

電池電圧が低下すると、電池交換のお知らせ音が鳴ります。お知らせ音が鳴りましたら、できるだけ早く電池を新しいものに取り換えてください。「12. お知らせ音について」(P.18)も併せてご覧ください。

#### ⚠ 警告

- ◆ 電池は、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- ◆ 使用済みの電池はゴミとして捨てずに、販売店にお持ちください。

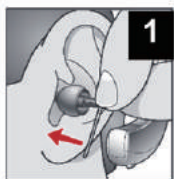
#### ⚠ 注意

- ◆ 電池を交換する際には、必ず電池フタに正しくのせてから、電池のフタを閉めてください。電池をフタにのせずに直接補聴器内に入れると、故障の原因になります。

## 6. 補聴器を装用するには

### ◆ BTEの場合

#### 1. イヤチップ



イヤチップを耳の穴に入れます。



補聴器本体を耳の上に置きます。



装着完了です。

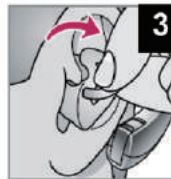
#### 2. イヤモールド



イヤモールドの付け根側のチューブを持ちます。



イヤモールドの先端を耳の穴に入れます。



イヤモールドを後方に回転させます。



イヤモールドを軽く奥に押し込みます。



補聴器本体を耳の上に置きます。



装着完了です。

### ◆ RICの場合



イヤチップを耳の穴に入れます。



補聴器本体を耳の上に置きます。



リテンションを耳のくぼみに固定させます。



装着完了です。

## 7. プッシュボタンの機能

対象: mini BTE312, micro RIC312

プッシュボタンを押す長さによって、音量調節やメモリー変更、ミュートのON/OFFを行います。  
※どのような設定になっているかは、ご購入いただいた販売店にご確認ください。



### ・プッシュボタン設定記入表

	音量調節	メモリー変更	ミュート	TRT機能
短押し				
長押し				

#### ①音量調節(短押し・長押し)

**大きい** プッシュボタンを押す時間(長押し・短押し)によって音量の上げ下げを行います。  
↑ プッシュボタンを短押しすると音が大きくなり、長押しすると音が小さくなります。  
**標準** ※ 電源を入れた時は、標準の状態です。  
↓ ※ 長押しで音を大きくし、短押しで音を小さくする設定にすることも可能です。  
**小さい** 詳しくは販売店にご相談ください。

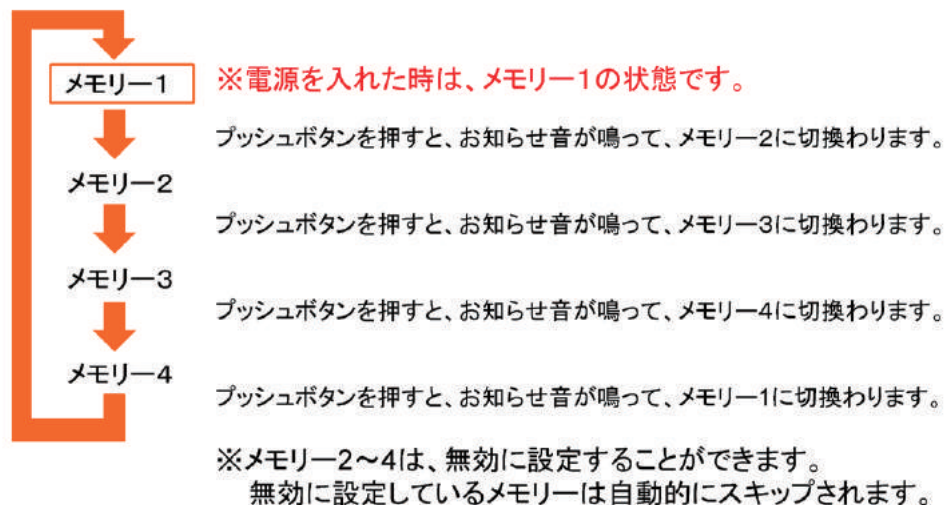
#### ②音量調節(ボリュームスプリンクラー)

**大きい(最大)** プッシュボタンを押すと音が小さくなり、最小になると大きくなります。  
↑  
**やや大きい** ※ 上記とは逆に、プッシュボタンを押すと音が大きくなるような設定にすることも可能です。  
**標準** ↓  
**やや小さい** ↑  
**小さい(最小)** ↓

※ 最後に音量調節してから10分以上経過後、再び音量調節する場合、初期位置からの調節と同じ順序で調節を行います。

### ③メモリー切換え

プッシュボタンを押して、メモリーの設定切換えを行います。



### ④ミュート機能

ミュート機能の搭載されている補聴器の場合、プッシュボタンを長押しすることで、補聴器はミュート状態になります。  
ミュートを解除する場合、音声が出るまでプッシュボタンを長押ししてください。

### ⚠ 注意

◆ 操作部(プッシュボタン)を必要以上に強く押すと、破損することがあります。

## 8. シーソーススイッチの機能

対象: BTE13, RIC312

シーソーススイッチを押す長さによって、音量調節やメモリー変更、ミュートのON/OFFを行います。  
※どのような設定になっているかは、ご購入いただいた販売店にご確認ください。



### ・シーソーススイッチの設定記入表

スイッチ	音量調節	メモリー変更	ミュート	TRT機能
上側				
下側				

### ①音量調節(シーソーススイッチ仕様)

シーソーススイッチの上側を押すと音が大きくなり、下側を押すと音が小さくなります。



※電源を入れた時は、標準の状態です。

### ②メモリー切換え

シーソーススイッチの上側または下側を押してメモリーの設定切換えを行います。



※電源を入れた時は、メモリー1の状態です。

スイッチの上側を押すと、お知らせ音が鳴って、次のメモリー設定に切換わります。  
スイッチの下側を押すと、お知らせ音が鳴って、1つ前のメモリー設定に切換わります。

※メモリー2～4は、無効に設定することができます。  
無効に設定しているメモリーは自動的にスキップされます。

### ⚠ 注意

◆ 操作部(シーソーススイッチ)を必要以上に強く押すと、破損することがあります。

## 9. T2リモート(リモコン機能)を利用するには

お持ちの携帯電話あるいはプッシュホン電話をリモコンとしてお使いいただけます。  
電話の音によって、「ボリューム調節」「メモリー変更」が行えます。

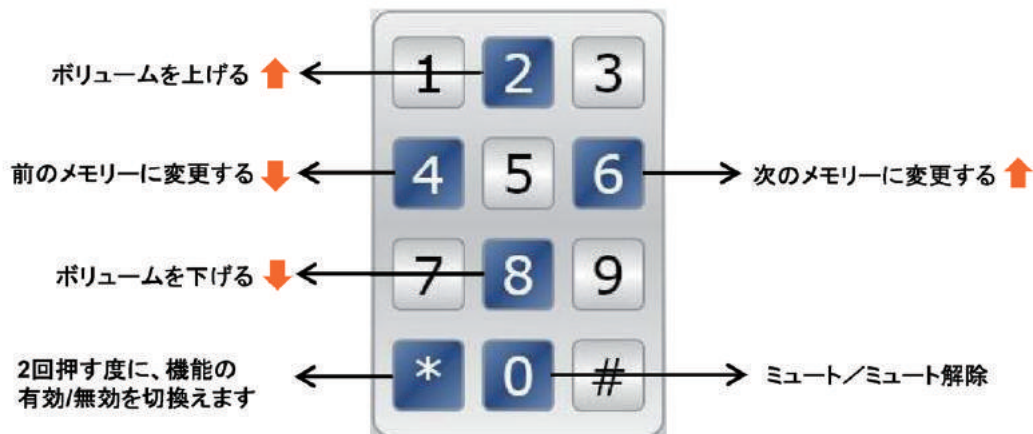
### <方法>

- ① 電話を耳に近づけ【\*】を2回押します。  
リモコン機能が有効になると、お知らせ音が鳴ります。
- ② ボリュームを調節するには【2】【8】を、メモリーを調整するには【4】【6】を押します。ミュートにするには、【0】を押します。
- ③ 調整が終わった後、耳から電話を離します。  
調整した設定で補聴器をお使いいただけます。



※補聴器の電源を切ると、元の設定に戻ります。  
※リモコン機能を無効にするには、電話を耳から離すか、【\*】を2回押します。

### 調整方法

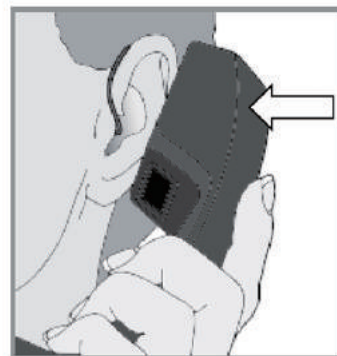


## ⚠ 注意

- ◆ お使いの携帯電話の機能によっては、調整出来ない場合があります。  
1→2→3または7→5→3の順にボタンを押して音を聞いて下さい。  
DTMF音(ピッポッパ)の場合、T2リモートをお使いいただけます。
- ◆ T2リモートをお使いいただくには、ご購入時に販売店で初期設定を行う必要があります。  
T2リモートが機能しない場合には、販売店にご相談ください。

## 10. 電話をかける時は

受話器を補聴器のマイクに近づけてください。  
耳かけ型の場合、耳の「後ろ」又は「上」に受話器を近づけます。  
(必要に応じて、下記の自動切り替え機能を使用します。)



受話器を補聴器に近づけると、電話用のメモリーに自動的に切替えることができます。



受話器を補聴器から離すと、通常のメモリーに戻ります。

※ 詳しくは販売店にご相談ください。

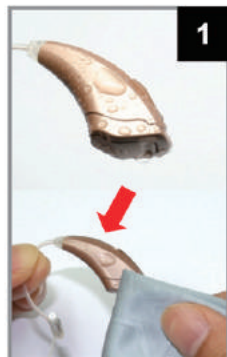
## ⚠ 注意

- ◆ コードレス電話、または携帯電話には機能しない場合があります。



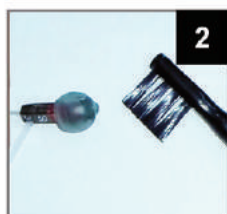
## 11. お手入れをするには

### ●補聴器本体のお手入れ



1

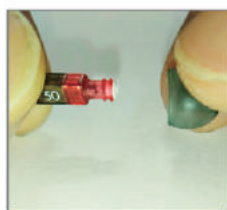
補聴器本体表面は、汗や水、汚れなどをはじいて付着しにくい撥水加工が施されています。ただし、本体表面に水滴がついたまま、電池交換をすると電池室内部に水が入るなどして、腐食や故障の原因になる場合があります。水分や汚れが付着した際は、柔らかい布などで、速やかに拭き取って下さい。



2

付属のブラシや綿棒を使い、補聴器本体やイヤチップ、イヤモールド等に付着している耳垢やホコリを取り除いてください。

### ●イヤチップの取付・取り外し方



イヤチップをしっかり保持してレシーバーやイヤチューブの根元をしっかり持ち、ひねらずにまっすぐ抜くと、イヤチップを取り外すことができます。取り付ける際には、イヤチップをしっかり保持して、レシーバーやイヤチューブの先端を差し込みます。

### ⚠ 注意

- ◆ イヤチップは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ イヤチップ、イヤモールドには、使用状況によりカビが発生することがあります。こまめにお手入れをお願いします。

### ●ホワイトワックスガード(耳垢防止)の交換

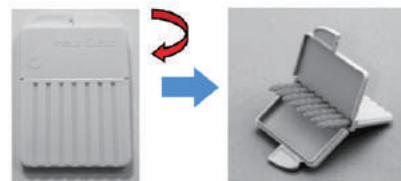


※ホワイトワックスガード(ワックスガード標準品)はお客様による交換が可能です。  
※ホワイトワックスガードを交換する前に、必ずイヤチップを外してください。



#### ホワイトワックスガード(耳垢防止)

※ 先端が金属のメッシュになっています。音が聞こえない・音が小さいなどの場合には、耳垢によって目詰まりをしている可能性がありますので、修理に出す前に、ホワイトワックスガードを交換してください。



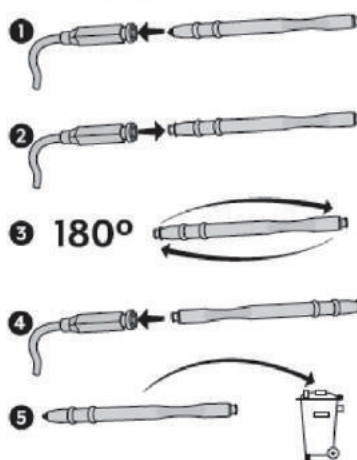
交換用キットには8本入っています

新しいホワイトワックスガード

交換用キットの  
がま口部分を開けます。



#### <手順>



- ① 新しい棒を取り出し、棒の取り外し側を補聴器のレシーバー孔に軽く押しこみます。
- ② 棒をまっすぐ引き抜きます。
- ③ 棒を180度回転させます。
- ④ 棒の反対側についている新しいワックスガードを、まっすぐ差し込みます。
- ⑤ 取り外したホワイトワックスガードは棒と一緒に廃棄してください。  
※ 棒は再利用できませんので、使用后廃棄してください。  
※ ホワイトワックスガード、棒及び交換用キットのケースは、プラスチックを主体としています。自治体の分別ルールに従い廃棄してください。  
※ 従来のホワイトワックスガードがお手元にある場合、そちらもご使用いただけます。

### ⚠ 注意

- ◆ ホワイトワックスガードは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- ◆ ワックスガードの縁は補聴器の先端に対して必ず平らになるよう装着して下さい。
- ◆ 装着状態が不安定な場合は外れる恐れがありますので御注意下さい。

## 12. お知らせ音について

電池交換時期、メモリー切換えなど、補聴器の状態を音声（日本語 / 外国語、男声 / 女声）、チャイム、または電子音（ビーブ音）でお知らせすることができます。  
メモリー変更の音声でのお知らせ音など、詳しい設定については販売店にご相談ください。

お知らせの内容	日本語(男声 / 女声)	ビーブ音
電池交換 電池を交換してください	ポンポン、電池(デンチ) (Muse iQ)	ピンポンパンポン (Muse iQ)
	電池(デンチ) (Muse)	ピーポーポーポ (Muse)
パワーオン 電源が入りました	ピンポンパンポン、チャン (チャイム・Muse iQ)	ポーンポーンポーン (Muse iQ)
	ターラリラーン (メロディ音・Muse)	プー (Muse)
メモリー変更 メモリー1(2, 3, 4)に切り換わります	メモリー名(ヒョウジュンなど) 番号(イチなど) (Muse iQ)	ポン(ポンポン、ポンポンポン、 ポンポンポンポン) (Muse iQ)
	イチ(ニ、サン、ヨン) (Muse)	プ(プブ、プブブ、プブブブ) (Muse)
電話 電話特性に切り替わります(オートマチックホン)	電話(デンワ)、携帯電話(ケイ タイデンワ) (Muse iQ)	タタタタン (Muse iQ)
	※ビーブ音と共通 (Muse)	ピロリロリ (Muse)
ボリューム最大	※ビーブ音と共通	ピッピッピッピッピッ(5回) (Muse iQ スキーム1, Muse)
		ピッピッピッピッピッ、ブッ (Muse iQ スキーム 2)
ボリューム上げる(ステップ)	※ビーブ音と共通	ピッ (Muse iQ スキーム1, Muse)
		ピッピッピッピッ(4回) (Muse iQ スキーム 2)
電源入時のボリューム位置(ホーム)	※ビーブ音と共通	ピッピッピッ(3回)
ボリューム下げる(ステップ)	※ビーブ音と共通	ピッ (Muse iQ スキーム1, Muse)
		ピッピッ(2回) (Muse iQ スキーム2)
ボリューム最小	※ビーブ音と共通	ピー (Muse iQ スキーム1, Muse)
		ピッ、ブッ (Muse iQ スキーム 2)
T2起動 T2リモートまたはT2オンデマンドを開始します	※ビーブ音と共通	ポピーー ポピーー
ミュート	※ビーブ音と共通	ポロロロン (Muse iQ)
		ピーポーピーポー (Muse)
耳鳴治療音のVCお知らせ音	※ビーブ音と共通	ボリュームと同じ音

※ Muse iQ RIC/BTE では、音量調整のお知らせ音を二通り(スキーム1かスキーム2のどちらか)に設定できます。

## 13. おかしいなと思ったら

補聴器をお使いの際に、音がきこえない、ピーピー音がするなど、おかしいなと思ったら、修理に出す前に以下の内容をご確認下さい。

症状	考えられる原因	対処法
音が聞こえない	○電池切れ	○電池を交換してください。
	●レシーバー孔の目詰まり	●レシーバー孔を掃除してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
ピーピー音がする	●補聴器が正しく装用されていない	●取扱説明書の「6. 補聴器を装用するには」をご覧ください、正しく装用してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
音がとぎれる	●電池の消耗	●電池を交換してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
音が小さい	●電池の消耗	●電池を交換してください。
	○レシーバー孔の目詰まり	○レシーバー孔を掃除してください。
	●マイク開口部の目詰まり	●マイク開口部を掃除してください。
	○機械的な故障	○販売店にご相談ください。
電池交換後、電池のフタが閉まらない	●電池の極性が逆	●本取扱説明書の「5. 電池の交換」をご覧ください、正しい向きに入れてください。
	○補聴器内に異物	○販売店にご相談ください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。

### ⚠ 注意

- ◆ 電池のフタを閉める際に、力を入れすぎると破損の原因になります。閉まりにくいと感じたら、電池の向きや補聴器の中に異物が入っていないか確認してみてください。異物が入っている場合、無理に取り出そうとすると、内部が破損する原因になります。このような場合には、販売店にお問い合わせください。

## 14. 販売店様へ

- AP仕様の補聴器等で132dB SPLを超える音圧レベルでフィッティングする場合、残存聴力を害する危険性があるため、ご注意ください。
- 補聴器出荷時は、左右の目印は付いていません。インジケータを付けることにより左右の識別が簡単に行え、誤使用の防止にもなります。



インジケータ  
赤: 右耳用  
青: 左耳用



電池ドアの溝に  
インジケータを  
挿入します。



挿入後、ねじり  
取ります。



装着例(右耳)

## <メモ>

## 15. 表示項目等

医薬品医療機器等法第63条の規定による表示

製造販売業者名: スターキージャパン株式会社

住所: 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23

一般的名称: 耳かけ型補聴器

販売名: スターキー耳かけ型1

区別: 管理医療機器

製造番号: 製品本体

認証番号: 228ADBZX00025000

### 保証について

修理が必要な際には、お買い求めいただいた販売店にお申し付けください。  
その際、販売店には出来るだけ詳しい状況をご説明いただきますようお願いいたします。  
また、保証期間経過後の修理についても、販売店にご相談ください。

お買い上げいただいた補聴器の保証書につきましては、内容をよくお読みいただき、  
無くさないよう大切に保管いただきますようお願い致します。

<メモ>

Ruled writing area for page 22, consisting of 20 horizontal dotted lines.

<メモ>

Ruled writing area for page 23, consisting of 20 horizontal dotted lines.



スターキージャパン株式会社

 **0120-045-190**

第2種医療機器製造販売業許可番号:14B2X00027

登録番号:14BZ000426

医療機器認証番号

スターキー耳かけ型1:228ADBZX00025000

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23

BKLT0062-04-JJ-JP JPYBK-062



MD0429916013485